

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ演習α

教科：数学 科目：数学Ⅰ演習α 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：道祖土 富士夫

使用教科書： 数研出版 「新編 数学Ⅰ」・「新編 数学A」

使用教材： （数研出版 「基本と演習 テーマ数学Ⅰ+A」

単元の目標：

- 【知識及び技能】数学Ⅰ・Aの学習内容について、知識及び技能の確認を図り、応用問題解決への土台を築く。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学Ⅰ・Aの基礎的な知識に基づいて、事象を数学的に考察し、表現する能力をつける。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学Ⅰ・Aの知識・技能や考え方を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
数学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・利用したりする技能を身につける。	事象を的確に捉え、その特徴を論理的に考察し、正しく判断した結果を数学的技法を用いて適切に表す力を身につける。	数学の良さを認識し、数学を活用する態度を身につけ、粘り強くかつ柔軟に考察し、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題を解決しようとする姿勢を身につける。

	具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期 前半	数と式について、全般的な復習を行うとともに基本から応用へと展開する。	数学Ⅰ 1. 数と式 ・式の計算 ・実数 ・1次不等式	【知識・技能】 数と式について、基礎的な知識・技能を習得できた 【思考・判断・表現】 知識・技能を基に数学的に考察し的確に表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さに気付き、自ら進んで問題を解決しようとする姿勢が見られる	○	○	○	12時間
1 学期 後半	命題と論証・2次関数について、全般的な復習を行うとともに基本から応用へと展開する。	2. 命題と論証 3. 2次関数 ・関数とグラフ ・2次方程式、2次不等式	【知識・技能】 命題と論証・2次関数について、基礎的な知識・技能を習得できた 【思考・判断・表現】 知識・技能を基に数学的に考察し的確に表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さに気付き、自ら進んで問題を解決しようとする姿勢が見られる	○	○	○	12時間
2 学期 前半	図形と計量について、全般的な復習を行うとともに基本から応用へと展開する。	4. 図形と計量 ・三角比 ・三角比の拡張 ・三角形への応用	【知識・技能】 図形と計量について、基礎的な知識・技能を習得できた 【思考・判断・表現】 知識・技能を基に数学的に考察し的確に表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さに気付き、自ら進んで問題を解決しようとする姿勢が見られる	○	○	○	14時間
2 学期 後半	データの分析について、全般的な復習を行うとともに基本から応用へと展開する。	5. データの分析 数学A 1. 場合の数と確率 ・集合 ・確率	【知識・技能】 データの分析について、基礎的な知識・技能を習得できた 【思考・判断・表現】 知識・技能を基に数学的に考察し的確に表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さに気付き、自ら進んで問題を解決しようとする姿勢が見られる	○	○	○	14時間
3 学期	整数の性質・図形の性質について、全般的な復習を行うとともに基本から応用へと展開する。	2. 整数の性質 ・約数と倍数 3. 図形の性質	【知識・技能】 整数の性質・図形の性質について、基礎的な知識・技能を習得できた 【思考・判断・表現】 知識・技能を基に数学的に考察し的確に表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さに気付き、自ら進んで問題を解決しようとする姿勢が見られる	○	○	○	18時間